

苫小牧市立清水小学校学校便り

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』  
◇学びを広げる子  
◇思いやりあふれる子  
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-  
es1@hokkaido.school.ed.jp

第 9 号 令和 5 年 11 月 24 日発行

## 初等中等教職員国際交流事業 中国教職員招へいプログラム 開成中学校エリアで実施

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）では、日本と韓国・中国・タイ・インドの教職員間の交流を深め、両国の相互理解と友好の促進に資するため、文部科学省の委託を受け、「新時代の教育のための国際協働プログラム初等中等教職員国際交流事業」として各国から初等中等教職員を日本へ招へいするプログラムを実施しています。今年度、開成中学校エリアにおいて、中国の教職員をお迎えし、本プログラムを 11 月 28 日（火）に行うことになりました。

当日の日程は以下のとおりです。

- 1 校時 歓迎式…開成中・清水小の管理職が出席し、中国教職員の歓迎式を行います。
  - 2 校時 授業参観…2年2組（算数）、6年1組（体育）の授業を見ていただきます。
  - 3 校時 中国教職員による授業…3年1組、4年1組で中国教職員に授業をしていただきます。
  - 4 校時以降 開成中学校の生徒と交流
- \* 放課後に、開成中学校、清水小学校の教職員と中国の教職員との交流（グループ別座談会）を予定しています。

本プログラムは、未来を担う子どもたちを育む教職員同士の交流を通して、互いの教育制度、教育事情及び文化について相互理解を深め、教職員自身が主体的なチェンジメーカーとして変容していくきっかけとすることを目的としています。また、グローバル化が進む今日、国際理解や国際親善は重要な課題であり、子どもたちには他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を育まなければなりません。

子どもたちにとっても、教職員にとっても、中国の教職員と交流する本プログラムは、大変貴重な機会となることは間違いありません。プログラム活動を通して、多様性への理解と尊重を育み、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現の一助になることを願います。